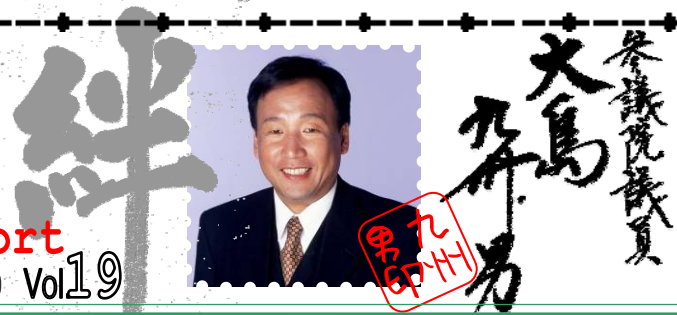




号外
 民主党プレス民主編集部
 〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-1
 電話03-3595-9988 (代表)
 press@dpj.or.jp
 http://www.dpj.or.jp

民主党参議院比例区第37総支部
 〒822-0022
 福岡県直方市知古 764-1
 ☎0949-22-0574

2009, 03
 kusuo-report
 Since2007.09 Vol19



国民の目線で…

「かんぽの宿」疑惑徹底追及へ！



「かんぽの宿」等疑惑追及プロジェクトチーム発足での会見

民主党はじめ社民、国民新の野党3党は「かんぽの宿」等疑惑追及プロジェクトチーム（PT）を正式発足させました。

大島九州男もPTのメンバーに選出され、国会内で記者会見を行いました。

PT発足の会見で、原一博『次の内閣』ネクスト総務大臣は「郵政事業における国民の権利を守るため一生懸命頑張っていく」と表明。「郵政をおもちゃにするな、私物化するな」と指弾。麻生首相が、閣僚のいす欲しさに「本当は郵政民営化に反対だったが賛成した」と5日の衆院予算委員会で答弁したこと、郵政4分社化の見直しをめぐる発言が二転三転したことを取り上げ、「現場で苦労している人がないがしろにされ、郵政を支えてきた方から悲鳴があがっている。国民の皆さんの権利が失われ、『かんぽの宿』等で私物化するなど、とても説明できるものではない」と述べ、3党が協力して徹底追及し、国民の権利を守っていくことを誓うとしました。

郵政民営化により国民の財産がごく一部のものになってしまうのは問題だとして、民営化以降、現場職員にとっても、利用する国民にとっても不便になり評判が悪いと指摘。3党で協力し「かんぽの宿」売却問題をはじめ多くの問題を暴きながら、国民の目線に立ち真の郵政改革を行ってく事を確認しました。

また、鳩山邦夫総務大臣宛てに「日本郵政による『かんぽの宿』等の一括売却に関して疑惑を解明するための申し入れ」を行いました。



さらに、大島九州男は、埼玉県さいたま市にある15階建ての「ラフレさいたま」を現地視察し、政策に活かしています。

郵政民営化後の現状と今後を考える



民主党福岡県連の衆議院総選挙合同選対本部において、大島九州男が担当している諸団体対策が企画した「郵政民営化後の現状と今後を考える」勉強会が開かれました。

大島九州男は、この事業の企画者の一人として、会の司会進行を務めさせて頂きました。

「かんぽの宿」のオリックスへの一括売却問題や、麻生首相の「民営化には本当は反対だった」との発言が問題視されたばかりでもあり、国民新党副代表の自見庄三郎参議院議員の郵政事業見直しに関する講演も熱を帯びました。

また、福岡県内の特定郵便局の方々が多く集まれ、衆議院選挙公認候補者との意見交換も行われました。郵政の問題にとどまらず活発な意見がだされ、熱気あふれる集会となりました。



幻の賛成討論

中川昭一財務・金融担当大臣が、イタリアのローマで開催された主要7カ国財務相・中央銀行総裁会議、いわゆるG7閉幕後の記者会見でみられた異常な対応の責を取り、2月17日辞意表明をされました。

世界の各国が、日本の発言を注視する中での中川大臣の失態。本来ならば即辞任が通常であるところを、平成21年度予算案およびその関連法案の衆議院過後に辞任をするという無責任な発言を受け、民主党は、翌日18日午前の参議院本会議で、問責決議案を提出することを決めました。

大島九州男は、その中川昭一財務・金融担当大臣に対する問責決議の賛成討論の任を受けましたが、中川大臣は、世論や自民党内などからの強い批判を受けて、夕方の辞任劇となりました。

幻の「中川大臣賛成討論」原稿は、大島九州男のホームページ2月18日のブログに記載しております…

[HPアドレス= <http://blog.goo.ne.jp/q0611/d/20090218>]

あなたも大島九州男と共に

民主党に参加しませんか？

ともに活動する
 党員・サポーターを
 募集しています

大島九州男と共に、民主党を応援したい18歳以上の方ならどなたでも、党員・サポーターになれます。

年会費は、党員6,000円。サポーター2,000円。

お問い合わせ・お申込は民主党参議院比例区第37総支部まで